

「9条の会ごか」ニュース

発行：9条の会ごか
事務局：高橋宏光



“鐘つき護憲表明”と“平和を考える集い” に30名集う

9月9日、善照寺（江川）における“世界平和を願う鐘つき”では憲法前文と第九条を朗読、参加者全員で鐘つきを行いました。

例年続けて来ましたこの鐘つきは、今回で最後となります。来年からのイベントについては、皆様と話し合いながら決めていきたいと思ひます。

善照寺さんにおかれましては、長い間ご協力頂きありがとうございました。



鐘楼の前で憲法前文と第九条を朗読



「平和」についてフリートーク

「平和を考える集い」では“平和の詩「生きる」”を観て、あなたにとって平和とは？を語り合い、二度と戦争をしてはならないと改めて誓いあいました。

境町、古河市、坂東市、幸手市からの参加もありました。



12月8日(土) 朝日新聞（茨城県版）に“意見広告”を掲載

“安倍改憲はゴメンです”の全面広告は、茨城県内の賛同者からの寄付金により掲載されています。五霞町の皆さんからもご賛同ご協力頂いています。ありがとうございました。



◆ “平和を考える集い”からの発言、意見、感想（抜粋）

- 平和を一言でいうのは難しいが強いていうなら、日本国憲法を守っていくことかな。
- 若い人は戦争が無いので（知らない？）平和とと思っているのでは無いか。沖縄はどうだろう、9条の会の集会、会合に対し言論を封じるようなことを感じる。秘密保護法などの動きは平和を脅かすものではないか。
- 日常が日常であることが平和かな？ この活動が毎年行えることが素晴らしい。
- 女性の出来ることが少ないように思われます。弊害も多い、小さい日常なことより平和は生まれてくる。
- 平和って何だろうと考えると、普通の生活が続けられることと思う。戦争に加担しない自由が守られている、いまが永遠に続くこと、平和の意味を子供たちに正しく伝えることが必要だ。

<意見、感想>

- この形が本年度で終わることへのさみしさは有りますが、故人の方々の意志を継承したものを続けていただけることを祈っております。
- 今日初めて参加しました。自分なりに、憲法9条を守る意味、思いを周りに少しでも伝えていけたらとあらためて思いました。自然災害続きで日本は大変な中、安倍総理はまだ改憲を進めるのか！？？？
- 初めて「平和の鐘つき」に参加しました。「平和」についての皆様のお考え、ご意見、本当に教えられました。
- いろいろな意見（どれも貴重）が聞けて、たいへん参考になりました。皆が平和を求めていくことを、出来ることから進めていきたいと思えます。
- 平和について再度考える機会となりました。「平和の鐘つき」の件は残念ですが、今後も平和を守る為の活動を続けられますように。
- 毎年楽しみにこの行事に参加させて頂いておりましたので、残念なことです。それぞれの地域で9月9日9時9分、みんなの思いをひとつにできるように考えていければと思います。大谷さんのお話に、いつも励まされ学ぶことが楽しみでもありました。青木さんの「戦死者報告」も心にしみました。
- フリートーキングは有益でした。参加者の考え方、とらえ方を表現し合うチャンスは大切である。一人でも多い、平和を求め、日本国憲法を守る運動こそ肝要である。安倍政権を打倒する事こそ日本の生きる道を作ることである。
- 改めて“平和”を考えるキッカケとなりました。来年も是非、五霞中心に、何らかの催し物をお願いしたいと思えます。坂東、境、古河からも遠くなく、場所的によいと思えます。
- 今年も参加できました。そして、思うことですが毎回ひとりづつお話されますが、私の場合考えは毎年おなじで変わることなく、変わり映えのしない事を今年も話して後悔します。
- 憲法9条について、平和について今日のような考えをした事はありませんでした。もっと深く見ていかななくてはと、思い知らされました。
- 平和の尊さ、生きる大切さを、改めて学びました。命を大切に一人一人が貴賓をもって尊い、大切にすること。